

2016-17年度ライオン誌日本語版委員会 第11回会議 報告書

日 時：2017年6月8日(木) 13:30～16:30

場 所：一般社団法人 日本ライオンズ 事務所

出席者：国際理事	佐藤 宜之 (大分ライオンズ)
国際理事	中村 泰久 (埼玉県・大宮北ライオンズ)
委員長	石井 博之 (334複合地区／三重県・津中央ライオンズ)
編集長	佐藤 義則 (332複合地区／宮城県・蔵王ライオンズ)
委員	久津間康允 (330複合地区／神奈川県・小田原白梅ライオンズ)
委員	佐々木忠康 (331複合地区／北海道・小樽ライオンズ)
委員	渡邊 信也 (333複合地区／新潟県・亀田ライオンズ)
委員	中村 房雄 (335複合地区／大阪府・泉大津ライオンズ)
委員	矢野 敏明 (336複合地区／島根県・松江葵ライオンズ)
委員	小柴 登司 (337複合地区／沖縄県・浦添ウエスト ライオンズ)
ITアドバイザー	辰巳 博昭 (兵庫県・神戸須磨ライオンズ)
欠席者：国際理事	安井 克之 (北海道・旭川東ライオンズ)
ITアドバイザー	荘 英 隆 (東京恵比寿ライオンズ)



石井委員長の開会あいさつに続き、佐藤、中村両国際理事からあいさつがあり、続いて石井委員長、佐藤編集長の進行で議事に入った。

【議事】

1. ライオン誌日本語版の運営 (別紙-月次決算報告)

4月度の収支計算書を基に会計担当者から説明があった。今月は頒布品収入が通常月より多く、また取材先の関係で直接出版費の旅費交通費が少なかったため、月次決算では約145万円の収支差額が生じ、期首からの累計では9,880,639円の黒字となっている (※一般社団法人設立に伴う特別な会費収入220,376,760円を除く)。

2. 2017年6月号(5月19日見本／95,500部発行)出来

最新号出来について委員から意見を求めた。特集は「糖尿病の実態」で、渡邊委員の協力を得て専門家による基調原稿を掲載すると共に、海外の事例も含めた糖尿病関連アクティビティを紹介した。「国際理事だより：安井克之国際理事」、「編集室：佐々木忠康委員」。

3. 2017年7月号記事内容の確認

事前に送付された7月号校正を基に、記事の内容を検討した。特集は「国際協会100周年Ⅱ」で、地区、複合地区レベルの100周年記念アクティビティを紹介する。「国際理事だより：佐藤宜之国際理事」、「編集室：久津間康允委員」。この号で、新年度各地区ガバナーの紹介を行う。なお、本部版は7-8月合併号となり、日本語版の7月号に該当する国際協会指定記事(「国際会長メッセージ」及び「Foundation Impact」)はないため、両コラムは休載となっている。

4. 2017年8月号及び9月号台割(案)

2017年8月号と9月号の台割案が提出された。

8月号はシカゴ国際大会、新国際会長の重点方針など新年度関連記事を中心に上げると共に、安井克之、佐藤宜之両国際理事の活動報告を掲載する。「国際理事だより：中村泰久国際理事」、「編集室：小柴登司委員」。この号に、ライオン誌日本語版の2018年以降の方向性について説明する記事を掲載する。なお、国際協会の要請に基づき制作する公式版ライオン誌共通の「デジタル版」と区別するため、日本語版独自で制作するものを「ウェブマガジン」、本誌をそのままの形で電子化するものを「電子版」と呼び、今後、繰り返しその周知を図っていくこととする。

9月号は次年度委員会の責任編集になるが、企画などは今年度中に進めておく必要があり、特集について内容を検討した。特集テーマとしては、子どもの貧困に焦点を当てるが、タイトル自体はより前向きなものを選び、フードバンクにいがたの運営委員を務めるL斎藤信夫(新潟県・にいがた水都LC)へのインタビュー、及び岩手県・盛岡観武LCが月2回実施していることも食堂のルポで構成する。「国際理事だより」はシカゴ国際大会で選出される新任国際理事、「編集室」は今年度のローテーションを継承し336複合地区の新年度委員の担当とする。

5. ライオン誌日本語版委員会

- 佐々木委員から、ライオン誌日本語版委員会の委員長、編集長の役割及び選出方法について質問があり、国際理事会方針書及び複合地区会則、ライオン誌日本語版委員会規程、ライオン誌日本語版委員会方針を基に確認を行った。なお、国際理事会方針書には、「公式版ライオン誌を監督するのはライオン誌委員会であるとして、二つ以上の複合地区を対象としている場合には、各複合地区協議会議長が一人ずつライオン誌委員会メンバーを任命すること。ライオン誌委員会はメンバーの一人を委員長に選ぶこと。公式版の編集者は、ライオン誌委員会またはガバナー協議会から任命されるか、選出されること」が明記されている。
- 上記確認に使用したライオン誌日本語版委員会規程、及びライオン誌日本語版委員会方針は、一般社団法人日本ライオンズの設立に伴い見直しの必要があり、次回会議で内容を精査し、改正案を策定する。
- また、国際理事会方針書に関連して、佐藤編集長から、今回の複合地区会則改正で、従来のライオン誌特別負担金50円が一般社団法人日本ライオンズ賛助会費80円に統合されたことについて、理事会方針書第16章ライオン誌B.運営及び財務－公式版第7項「公式版は、ライオン誌経費に充てるため、追加料金を徴収することができる。ただし、読者の地域における正規の大会で、ライオンズが承認することを条件とする」に抵触するのではないかとの指摘があった。また、公式版は国際協会から半期ごとに収支計算報告書の提出を求められており、その中の「地元会員から得た購読料」という項目には具体的な購読料の額を記載する必要がある。そのためにも50円という購読料は年次大会で決定しておく必要があるのではないかとの疑義が提示された。これに対して矢野委員から、旧日本ライオンズ連絡事務所と旧ライオン誌日本語版事務所を統合して日本ライオンズ事務所となり、更に一般社団法人化する中で、旧連絡事務所費の30円とライオン誌特別負担金50円と合わせた80円を賛助会費とすることが決まり、今回の複合地区会則改正に

反映させたもので、国際協会への収支計算報告書には実支出から算定した額を結果として記載すればいいのではないかとの意見があった。この件に関し、委員会としての結論は出せないため、両論併記の形で報告書に残すこととする。

6. その他

- 2018年以降のライオン誌に関して、今年度の委員会で検討を重ね、決定ないし合意している事項について確認した。①紙媒体で発行する本誌は、全クラブ・アンケートの結果から、委員会として「現行程度」の誌面を維持することを決定。ページ数は60ページを維持し、年6回隔月の発行とする。誌面編成は原則現行のままだが、隔月刊となるのに伴い一部見直しが必要。紙媒体の本誌を元に、国際協会から要請されているデジタル版、及びアーカイブとして検索出来る電子版も作成する。②委員会として国際協会のデジタル版とは別に日本語版独自でデジタル化を推進することを決定。それをウェブマガジンと呼称し、原則として毎月1回発行とする。国際協会の要請に基づきスマートフォンなど携帯端末にも対応させる。公開ページと会員ページを分け、公開ページはライオンズの良いイメージを広め会員の誇りを高めるコンテンツを中心に構成する。動画コンテンツの導入やSNSとの連携も図る。

これに関連して、現在進行中のウェブマガジンの構成案と、サイト構築及び動画制作の概算見積が提出された。上記の各事項を確認し、この方向でデジタル化を進めることとし、見積もりの精査や制作体制の見直しなどを行い、更に具体化させたものを今年度最終となる次回会議で検討する。

また、本誌が隔月発行となることによる検討課題が提出され、そのうち隔月刊の発行日及び月号表示については、1-2月号、3-4月号……とし、発行日は、各月号の前月20日とすることを決定した（例：2018年1-2月号は2017年12月20日発行）。

なお、隔月発行の本誌と毎月発行のウェブマガジンという二本立てになる上に本部推奨のデジタル版と、電子アーカイブとしての電子版を作成することで業務量が増え、更に動画制作など経費増が見込まれる点については、本誌の発行が隔月になるのに伴い発送業務も隔月になることから、この業務を担当する職員を充当し外注経費を抑制することが佐藤編集長から提案された。

- 一般社団法人日本ライオンズ会費及び複合地区会費の請求業務を行うに当たり、ライオン誌日本語版委員会が管理しているオンライン報告システムServannAのデータ使用を承認した。
- 330-B地区から、同地区版100周年記念誌作成に当たり、ライオン誌日本語版の資料及び写真等の使用許諾要請があり、これを承認した。
- 事前資料として送付されたライオン誌サポーター・アンケートの内容を確認した。

閉会あいさつ 石井博之委員長

【次回以降委員会開催予定】

7月13日(木)	13:30~16:30	第12回会議	日本ライオンズ事務所
7月26日(水)	13:30~17:00	新旧合同会議	日本ライオンズ事務所 ※仮

ライオン誌日本語版
2016-2017 年度収支計算書

2017年4月

(収入の部)

科 目		予 算 額	当 月 執 行 額	累 計 額	残 額	高 摘 要
項 目						
購 読 料 収 入		111,220,000	10,043,230	101,816,611	9,403,389	
	国際協会補助金	55,500,000	5,370,230	55,300,161	199,839	
	会 費	55,500,000	4,673,000	46,404,200	9,095,800	
	翻訳料補助金	220,000		112,250	107,750	
ライオン誌送料		49,000,000	4,271,371	42,421,306	6,578,694	
広 告 料 収 入		2,500,000		2,245,104	254,896	
そ の 他 収 入		2,550,000	209,632	2,668,560	△ 118,560	
	頒布品収支差額	1,000,000	189,132	1,169,085	△ 169,085	
	受 取 利 息	50,000		17,596	32,404	
	雑 収 入	1,500,000	20,500	1,481,879	18,121	
特 別 収 入		220,376,750		220,376,750		
	特別の会費	220,376,750		220,376,750		
合 計		385,646,750	14,524,233	369,528,331	16,118,419	

(支 出 の 部)

科 目	目 目	予 算 額	当 月 執 行 額	累 計 額	残 高	摘 要
直 接 出 版 費		106,640,000	8,775,989	90,181,146	16,458,854	
	印 刷 費	33,600,000	2,846,027	28,440,973	5,159,027	注1
	発 送 事 務 費	13,800,000	1,133,503	11,523,461	2,276,539	注2
	ライオン誌送料	49,000,000	4,284,355	42,759,972	6,240,028	注3
	旅 費 交 通 費	5,000,000	111,600	3,319,788	1,680,212	
	編 集 関 係 諸 費	235,000	14,404	222,847	12,153	
	原 稿 料 ・ 編 集 費	5,000,000	386,100	3,910,480	1,089,520	
	広 告 関 係 諸 費	5,000		3,625	1,375	
	そ の 他					
委 員 会 費		6,155,000	336,240	3,009,137	3,145,863	
	旅 費 交 通 費	5,000,000	336,240	2,886,900	2,113,100	
	会 議 費	5,000				
	統 合 関 連 費	1,000,000			1,000,000	
	雑 費	150,000		122,237	27,763	
資 料 整 備 費		5,700,000		6,139,800	△ 439,800	
事 務 費		51,580,000	3,961,899	39,940,859	11,639,141	
	人 件 費	30,000,000	2,498,169	24,981,690	5,018,310	
	福 利 厚 生 費	5,700,000	393,110	3,496,459	2,203,541	
	旅 費 交 通 費	1,000,000	103,568	1,036,308	△ 36,308	
	通 信 費	1,500,000	65,588	1,117,221	382,779	
	事 務 用 品 費	800,000	28,515	512,014	287,986	
	函 書 費					
	備 品 ・ 消 耗 品 費	50,000	4,983	28,933	21,067	
	I T 関 連 費	2,400,000	181,656	1,892,160	507,840	
	支 払 手 数 料	80,000	3,294	56,376	23,624	
	保 守 ・ 修 繕 費					
	借 室 料	8,300,000	624,056	6,240,560	2,059,440	
	水 道 光 熱 料	400,000	30,340	288,073	111,927	
	租 税 公 課	200,000			200,000	
	減 価 償 却 費	250,000			250,000	
	雑 費	500,000	28,620	291,065	208,935	
	固 定 資 産 廃 棄 損	400,000			400,000	
(収 入)-(支 出)		215,571,750			215,571,750	
繰 越 収 支 差 額 金						
当 期 収 支 差 額 金			1,450,105	230,257,389	△ 230,257,389	注4
合 計		385,646,750	14,524,233	354,778,292	30,868,458	

注1 5月号95,400部発行。@27.63

注2 5月号発送手数料： 個人発送（2010クラブ・61,269冊）678,656円

クラブ発送（1080クラブ・32,508冊）323,400円

5月号掲載誌、有料誌、PR誌送料送料及び発送手数料他、131,447円

注3 5月号送料：個人発送@62×61,269人=3,798,678円、クラブ発送（1080件）485,677円

注4 「特別の会費」収入を除く2016-17年度収支差額累計額 9,880,639円